



こどもたちのために
わたしたちができること

WHAT WE CAN DO FOR CHILDREN

南河内地域の

松原市、富田林市、羽曳野市
河内長野市、藤井寺市、大阪狭山市
河南町、太子町、千早赤阪村

みなさんと
家庭養育を
目指します

高鷲学園と一緒に里親を目指し、
家庭養育を行う「with里親」を募集しています

まずは
お電話ください

☎ 072-959-2202

FAX 072-959-2242

email withsatooya@takawashigakuen.com

HP withsatooya.takawashigakuen.com

〒583-0886 大阪府羽曳野市恵我之荘2-1-5



詳しくはコチラ▲



高鷲学園 里親支援機関
「with里親」

Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION



高鷲学園は、with里親として登録された「はぐくみホーム」「週末里親」の方々に寄り添い、こどもたちの成長をサポートし続けます。



「with里親」とは

何らかの理由で家庭で生活できなくなったこどもたちを、南河内地域の家庭で養育してくださる「はぐくみホーム」や「週末里親」のことです。高鷲学園は「with里親」として登録に向けたステップを共に進みながら継続してサポートをしていきます。登録後は、すぐに長期間のこどもとの生活をお願いするのではなく、色々な形で子どもと交流し、「はぐくみホーム」「週末里親」とこどもたちがお互いに知り合える機会を作ります。

「はぐくみホーム」とは

大阪府では、事情があって家庭で生活できないこどもを一定期間育ててくださる里親家庭(養育里親)を「はぐくみホーム」と呼んでいます。保護者と離れて暮らすこどもたちの事情や期間も様々です。そのため、こどもにとって必要なはぐくみホームも様々です。

「週末里親」とは

施設で生活している保護者との面会や帰宅の少ない等のこどもが家庭生活を体験することを目的に、月に数回、または長期休みのみ等、家庭へ迎え入れてくださる家庭を「週末里親」と呼んでいます。



こどもたち、「はぐくみホーム」「週末里親」、支援する側の「高鷲学園」、みんなが顔見知りでお互いに安心でき、気軽に相談できる関係を目指します。

条件はあるの？



Q.1

どんな人がなっているの？

Answer
特別な資格は必要ありません。家族と離れて暮らすこどもたちの気持ちに寄り添える方、ごありふれた家庭生活をこどもたちと一緒に送ってくださる方、どなたでも里親活動が可能です。登録のために研修等の受講が必要です。

Q.2

夫婦共働きでも大丈夫ですか？

Answer
家庭事情や勤務状況にもよりますが、共働きで里親をされている方もおられます。保育所を利用することもできます。その場合、保育料の減免制度があります。
*週末里親はお休みの時に活動していただけます。

Q.3

自分のこどもがいてもできますか？

Answer
自分のこどもがいて里親をされている方もたくさんおられます。一度ご相談ください。

Q.4

こどもの希望はいえますか？

Answer
ご希望は何いりますが、受け入れ家庭のご事情や家族構成などを確認し総合的に判断します。

Q.5

退職して時間はあるけど年齢的に無理ですか？

Answer
こどもたちはパワフルでエネルギーも高いですが、これまでの経験を活かして家庭養育を楽しみませんか？一度ご相談ください。

Q.6

こどもを引き受けた後、こどもの気持ちに寄り添えるか不安です。

Answer
養育の悩みについては高鷲学園の里親支援専門相談員、児童指導員、保育士、心理士などがサポートします。こどもの心を理解するには、里親同士で語り合うのも良いでしょう。地域の里親会による支援や交流活動もあります。

Q.7

お金持ちでないと無理ですか？

Answer
こどもの生活に必要な費用は、一部手当てが出ます。
●里親手当て(はぐくみホーム)→86,000円
二人目以降は一人につき43,000円
●生活費や学校、幼稚園の費用→原則公費負担
●医療費、予防接種の費用→公費負担
●週末里親では謝礼金として1日1,500円
交通費1,000円が支給されます。(上限あり)

Q.8

長期間継続するのは難しいなあ。

Answer
はぐくみホームを短期間必要としているこどももいます。養育を少し休息したいとなれば、レスパイト制度(休息をとる)を活用していただけます。